

意外と知らない保険証のはなし

～こんなとき、国民健康保険の保険証を使ってもいいの？～

こんな時どうする？

**?** 市外に転出したり、社会保険に加入したりして、保険が多久市の国保でなくなったけど…

新しい保険証がまだ手元に届いていないし、国保の保険証を持っているから、このまま国保の保険証で病院にかかっていいの？



実はダメなんです！

**!** 資格喪失後に多久市の国民健康保険証は使用できません！

**?** 資格喪失後に多久市の国民健康保険証を使用して医療機関を受診してしまった場合はどうなるの？

**!** 受診時の国保世帯主から多久市へ保険者負担分（7～9割）を返納していただき、あらためてその分を新しく加入した健康保険に請求していただく手続きが必要になります。

**!** 受診月内であれば、医療機関等に新しい保険証を提示することで、手続きが不要になる場合があります。

各医療機関に新しい保険証を提示し、保険が変更になった旨を伝え、変更になった日以降の請求先を多久市の国保から新保険者へ変更してもらう必要があります。



◆保険証は正しく使いましょう！

保険証が変更になる場合は（新しい保険証がまだ手元に届いていない場合も）（月の途中で）、その旨を必ず医療機関等の窓口へ伝えてください。

社会保険加入や市外への転出などにより国民健康保険の資格を喪失する（した）場合は、速やかに国保脱退の手続きをし、保険証を市役所窓口へ返却しましょう。

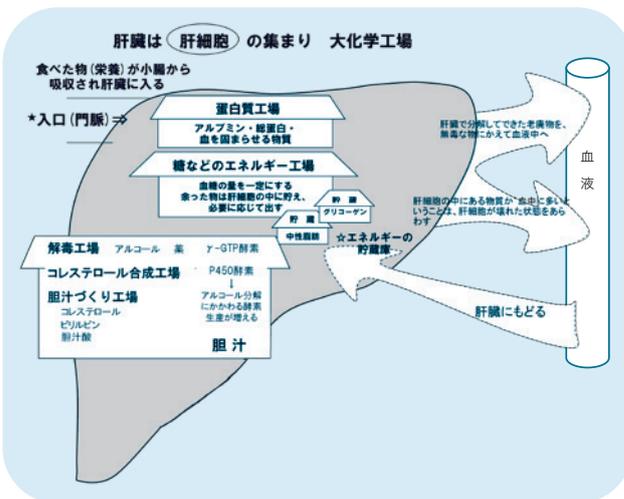
問い合わせ 市民生活課 保険年金係 ☎75-2159

肝臓の仕事と糖尿病の話

自分の健診結果から生活を見直し健康を守りましょう

肝臓は糖などのエネルギー工場

肝臓の細胞に入ります。細胞が元気でインスリンがきちんと仕事してくれるおかげで、ブドウ糖はグリコーゲン（糖の塊）として細胞に貯蔵（預金）されます。そのグリコーゲンは体のエネルギー



肝臓は糖などのエネルギー工場であり、糖の貯蔵庫です。これは、肝臓の重要な仕事のひとつで、肝臓は細胞の部屋の数を2500億個持ち、1つ1つの部屋で、ブドウ糖を管理する仕事をしています。炭水化物のご飯やパン、菓子、果物、ジュース、アルコールなどはブドウ糖という栄養素になり小腸から

肝臓の細胞に入ります。細胞が元気でインスリンがきちんと仕事してくれるおかげで、ブドウ糖はグリコーゲン（糖の塊）として細胞に貯蔵（預金）されます。そのグリコーゲンは体のエネルギー

肝臓は糖などのエネルギー工場が不足した時、ブドウ糖の状態に戻して血液に送り出します。

また、肝臓は血液中の余ったブドウ糖を回収して、グリコーゲンとして貯蔵する仕事をしています。

以上のような、肝臓工場の巧みな働きがあり高血糖になることもなく、糖尿病にもなりにくいという身体

問い合わせ 健康増進課 ☎75-3355

（参考：きょうの健康2017.7）